学校だより
まきのき
平成 30 年 12 月 20 日　Ｎｏ.９
発行：長与町立長与小学校
校　長　松尾　克久
編集：副校長　田川　定司

ユニバーサルデザイン（Universal Design）
～　人権集会でのお話より　～

みなさんは、「ユニバーサルデザイン」（以下、ＵＤ）という言葉を聞いたことがありますか？

世界にはたくさんの人がいて、生まれ育った国や使っている言葉も違います。赤ちゃんや小さな子供、お年寄り、妊婦さん、障がいのある人などが暮らしています。一人一人違う私たちにとって、過ごしやすい道具や設備を整えていく考えをＵＤといいます。この考えをもとに、人にやさしいまちづくりが行われています。

例えば、ファミリーレストランでは、自動ドアやスロープ、段差のない平らな床。車いすの使用者もお年寄りの方も歩きやすくて、やさしいです。点字や数種類の外国語メニュー。アレルギー一覧表。どんな方でも食事を楽しむＵＤを整えています。

では、長与小学校では、どうでしょうか。

正門や玄関のスロープ。車いすやベビーカーでも入れるスロープです。点字ブロック、目の不自由な人が安全に校舎に入れるようにしています。広くて低い窓口、大人でも子供でも利用しやすいような高さです。エレベーター、車いすやけがをした人、お年寄りの人が楽に移動できます。トイレも段差がなく、手すり付きの個室もあります。広い廊下。教室には、色分けしたごみ箱、可動式黒板。背の高さに関係なく書きやすいようにしています。

小学校には、１年生から６年生までの年齢で困っていることがいろいろと違う子供たち、そして先生方が生活していて、赤ちゃんやお年寄り、外国の人、ざまざまな障がいのある方も過ごすことがあります。

長与小学校にも、ＵＤが整ってきています。これは、素敵なことですね。

さて、これがＵＤのすべてだと思われがちですが、実はそうではないのです。

もしも、周りに悪口やいじわる、暴言や暴力があふれていたらどうでしょう。どんなに便利な道具や設備が整っていても、だれも過ごしやすいとは思わないでしょう。

肝心なことは、私たち一人一人がＵＤを用意することです。つまり、「一人一人が大切な存在」という気持ちをもち、すべての人が過ごしやすいように考えて行動できる力を身に付けていくことが大切なのです。

そのためには、人の体や心を傷つけないことが出発点です。一歩進めると、思いやりの行動ができることです。児童会の「美しい言葉遣い」の取組も素晴らしいと思います。

困りごとを助ける便利な道具や設備で、人を傷つけない美しい言葉と思いやりの行動で、すべての人が過ごしやすい学校にする。

それが、長与小学校のユニバーサルデザインです。

１年生「幼保小交流会」１１月７・９日

来年４月に入学してくる年長児（校区内８園の幼稚園・保育園・こども園）２１２名を本校に招待し、授業の見学をした後、学校生活のことを教えたり一緒に遊んだりしました。

６年生「マイタウン子どもビジネススクール」１１月１２日

町内３８箇所の店舗・事業所・施設等にお世話になり、６年生が職場体験学習を行いました。今年で１８年目を迎えます。働くことの意義や接客の礼儀・マナーについて学ぶと共に、地域を大切に思う気持ちも高めることができました。小学校で職場体験を行うのは、本校の大きな特徴です。「西そのぎ商工会」皆様の全面協力により行われています。

長与っ子が輝きました！

長与町「家庭の日」作文コンクール

【優秀賞】　２年　梅野　翔「グランパ」　４年　山本 翔太「海が好きなお父さん」

【佳　作】　１年　牟田 遼佑「ぼくのおねえちゃん」

長与町「人権」作文コンクール

【最優秀賞】５年　吉田 圭吾「聴覚障がい者の方と交流して」

（作文発表を文化ホールで立派に行いました。）

【佳　作】　６年　西村 和花「言葉」

「町民のつどい」での表彰式

長与町「家庭の日・オアシス運動」標語コンクール

【最優秀賞】６年　山﨑 菜花　「テレビ止め 笑顔ではずむ 家族の会話」

（役場前の看板に大きく掲げられています。）

【佳　作】　５年　松本 悠亜「がんばって この一言で 勇気出す」

長与町「人権」標語コンクール

【優秀賞】　４年　岡澤 遼吾「言葉の矢 一度放てば もどせない」

【佳　作】　４年　谷添 志帆「いじめ０(ゼロ)　みんなえがおで　未来の０(わ)」

平成31年1月の行事予定

よいお年をお迎えください。

８日（火）３学期始業式
１５日（火）学年朝会・委員会活動
２０日（日）長与町ロードレース大会
２２日（火）給食集会・代表委員会・６年生制服採寸
２４日（木）６年生ながよ検定
２６日（土）中央コミュニティー風船バレー大会
２９日（火）ハーモニー集会